

下関西ライオンズクラブ 第49代 北坂秀樹会長スローガン

「心をひとつ 笑顔で奉仕 ウィ・サーブ」



平成23年 7・8・9月号

発行所 下関西ライオンズクラブ
発行人 PR・会報・IT委員会
委員長 登根 邦彦 副委員長 新屋 幸彦
上釜 昇 三谷 健吉
URL <http://www8.ocn.ne.jp/~sw-1c/>



会長就任挨拶

第49代会長 L. 北坂 秀樹

この度、伝統ある下関西ライオンズクラブ、第四十九代会長に就任するに当たりまして、会長の重責を思いますが、ぐっと身の引き締まる思いでございます。重責を乗り越えて頑張りますので、一年間よろしくお願い致します。

メルビン・ジョーンズの言葉に、「ライオンズを通して、奉仕することで、自分自身の人生が大成できる」とあります。未だライオンズのことを十分理解しているとは思いませんが、私なりに解釈すると、下関西クラブのメンバーの皆さんの心が一つになり、同じ志の友として、奉仕す

る心をもつ限り、皆さんのライオンズライフは豊かで、楽しくなるのではないかと思います。

そこで、本年度の会長スローガンを『心をひとつ、笑顔で奉仕・ウィ・サーブ』としました。このスローガンのもとに、皆さんと一致団結して頑張っていきたいと思っております。

今年の活動であります。資金獲得事業としては、チャリティゴルフ、老の山花祭りに出店予定しております。

奉仕活動については、献血などの継続事業の他、海峡マラソンのお手伝いなども考えております。限りある予算の中で、メリハリのある委員会活動を各委員長と共に考えて行きたいと思っております。

会員増強についてお話ししたいと思います。

私が入会した平成七年は八十名近いメンバーがいましたが、現在は二十九名です。二度の新クラブの誕生などがありました。新会員獲得に本気で取り組まなかったことが原因と反省しております。クラブの活性化は会員の増強なくしては成り得ません。西クラブの現状は奉仕活動も大切ですが、まず第一に会員の増強で、会長をはじめとする執行部の重点的な仕事だと考えております。事業も奉仕も会員増強も、皆様のご協力なくしては為し得ません。

下関西ライオンズクラブ会長として、皆様と共に頑張りますので、皆様のご支援助を願っています。会長就任の挨拶とさせていただきます。宜しくお願い致します。

幹事に就任して

幹事 L. 上釜 昇



この度、歴史と伝統ある下関西LCの幹事という大役を仰せつかり、はなはだ恐縮いたしております。

北坂会長のスローガン「心をひとつ、笑顔で奉仕」に向けて、少ない会員数ではありますが、団結して奉仕活動に邁進できればと思っております。皆様方のご支援助とご協力を宜しくお願い頂きますようここに伏して申し上げます。

会計に就任して

会計 L. 太田 秀実



会計の任を担うことになりました。ライオンズクラブの創設者がアメリカ・シカゴの保険代理店を経営するメルビン・ジョーンズ氏であったことをクラブに入会後知りました。同じ保険のビジネスに関わっていることを感慨深く思うとともに、ライオンズクラブの目的である社会に貢献する活動を今後とも実行してまいります。

ライオンズクラブに入会してから、未だ日も浅くクラブの活動も分からないところが多々ありますが、諸先輩のご指導の下、誠心誠意勤めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

ライオン・テーマに就任して

幹事 L. 亀 甲 将実



3年前に45周年の会長としてホッとしていたところへ、

北坂会長よりライオン・テーマをやってほしいと言われ、どうしたものかと考えたが、聞けば33代会長をされたL. 上釜が幹事を、43代会長をされたL. 山口がテーマをされるという。

振り返って私が会長の時にお世話になったことを思えば、協力しなければなるまい。会員が減少した今日、会長経験者と言えども、呑気にやってはおれない。クラブによっては、二度目の会長もあると聞く。幸にも、国旗やライオン旗などの取り付けは、シーモールがやってくれるというから、差し当たり司会進行をやればよいと言われ、お受けすることにしました。

テール・ツイスターに就任して

山口 芳英

テール・ツイスター(以下TTと略す)の任務や目的については、吉本前TTが『かわらばん』No.155で詳



細に解説しているが、TTは日本語では何と呼ぶのか

ライオン必携を見てもはっきりしないため、過去のライオン誌を調べてみることにした。1995年5月号に、TTの特集が組まれており、詳細に書いてあった。

それによると、東京LCの初代会長のL. 石川が自ら翻訳し、TTを『尻尾を捻じる者』、ライオン・テーマを『ライオンを馴らす者』と翻訳してみたものの、役員の名称にはとても相応しくないもので、言語をそのまま使用して呼ぶことにしたと書いている。

そういうことからして、TTという言語は、世界ライオン206ヶ国の共通の言葉ではないかと思えてならない(?)。

10年以上も前に、L. 磯部の会長の時初めてTTに就任し、今回が2度目の就任であるが、一昔前のことであり、全く記憶になく、私のような人前で話をするのが苦手な者には、ユーモアがあつてウィットに富んだお笑いタレントのような、例会を盛り上げる才能はなく、就任して3ヶ月が経つが、ドネーション報告するのが関の山である。

我が西クラブは二回の分裂により会員数が落ちるところまで落ちていますが、会員相互の絆を深め、楽しい例会の演出に努めて参りたいと思っております。会員の皆様の絶大なご協力をよろしくお願い致します。

7/1

新年度特別例会

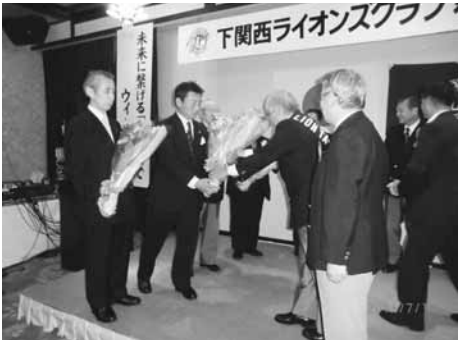
春帆楼・鳳凰の間において、新年度特別例会が開催された。

阪口前会長の謝辞、二〇一〇～二〇一一年度純例会一〇〇％出席賞の贈呈の後、新旧役員のバッヂ交換、前五役へ花束贈呈があり、引き続き北坂秀樹新会長が、会長スローガンを『心をひとつ、笑顔で奉仕・ウィサーブ』として、一年頑張るとの挨拶があった。

▲新会長挨拶



▲5役バッヂ交換
前5役へ花束贈呈



例会後の懇親会は、キング・レコード所属で、下関出身の歌手・谷口修三歌謡ショウで楽しく過ごした。

▲懇親会風景
歌手：谷口修三さん



8/5

追悼例会

恒例の追悼例会が開催された。

追悼式は、ビジターに7R・1ZゾーンチェアパーソンL・香川博、下関LC三役、下関北LC会長、会計を迎え、故L・内田次男のご令嬢・由紀子様のご来会のもと、しめやかに執り行われた。

ビジター、会長の献花の後、内田由紀子様と、故L・繁田豊のご子息で、この度、賛助会員となったL・繁田博の二人が、遺族を代表

して献花された。結成以来の物故者は、三名を数える。心からご冥福をお祈り致します。



9/16

お月見例会

於：春帆楼

十五夜を四日過ぎた十六日、例会場を春帆楼に変更して、恒例の『お月見例会』が開催された。

生憎の曇天で月は雲に隠れて出ずじまいであったが、窓際にはススキと酒と月見団子の代わりに、L・橋本がお勤めの林兼産業が扱っている和菓子が山と積まれ、雰囲気を出していた。

また、同時に新会員の入会式も行われ、山口銀行のL・中村利之が前任のL・加藤の後任として入会した。帰りには、提供された和菓子が配分され、お土産片

手に帰宅した者や、二次会へ繰り出した者もあり、楽しいひと時であった。



▲7/27 市長表敬訪問



▲7/15 委嘱状伝達 L・谷野
徹：2011～2012年度
336 D地区 特別名誉顧問



▲8/19 卓話
末田昭彦氏 下関中央消防署
第一警防係長



▲9/15 下関防犯対策協議会
へ 防犯グッズ購入資金として
3万円贈呈於：下関警察署



新入会員

▲7/15 L・繁田博



▲9/16 L・中村利之

